

1. 対象事業実施区域位置図

【事業概要】

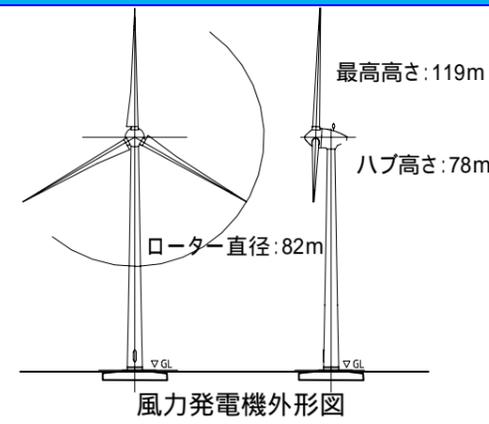
本事業は気仙沼市の復興計画プロジェクト「気仙沼市再生可能エネルギー導入プロジェクト」に選定されており、対象事業実施区域は気仙沼市の西部、標高 600～630m程度の山地に計画されている。周辺の地目は「山林」であり、宮城県立自然公園気仙沼内に位置している。事業実施区域位置の選定にあたっては、風況条件と環境に与える影響を少なくすることを考慮した検討を行った。

【スケジュール】

- 平成 26 年 11 月着工
- 平成 27 年 10 月試運転開始
- 平成 27 年 12 月運転開始

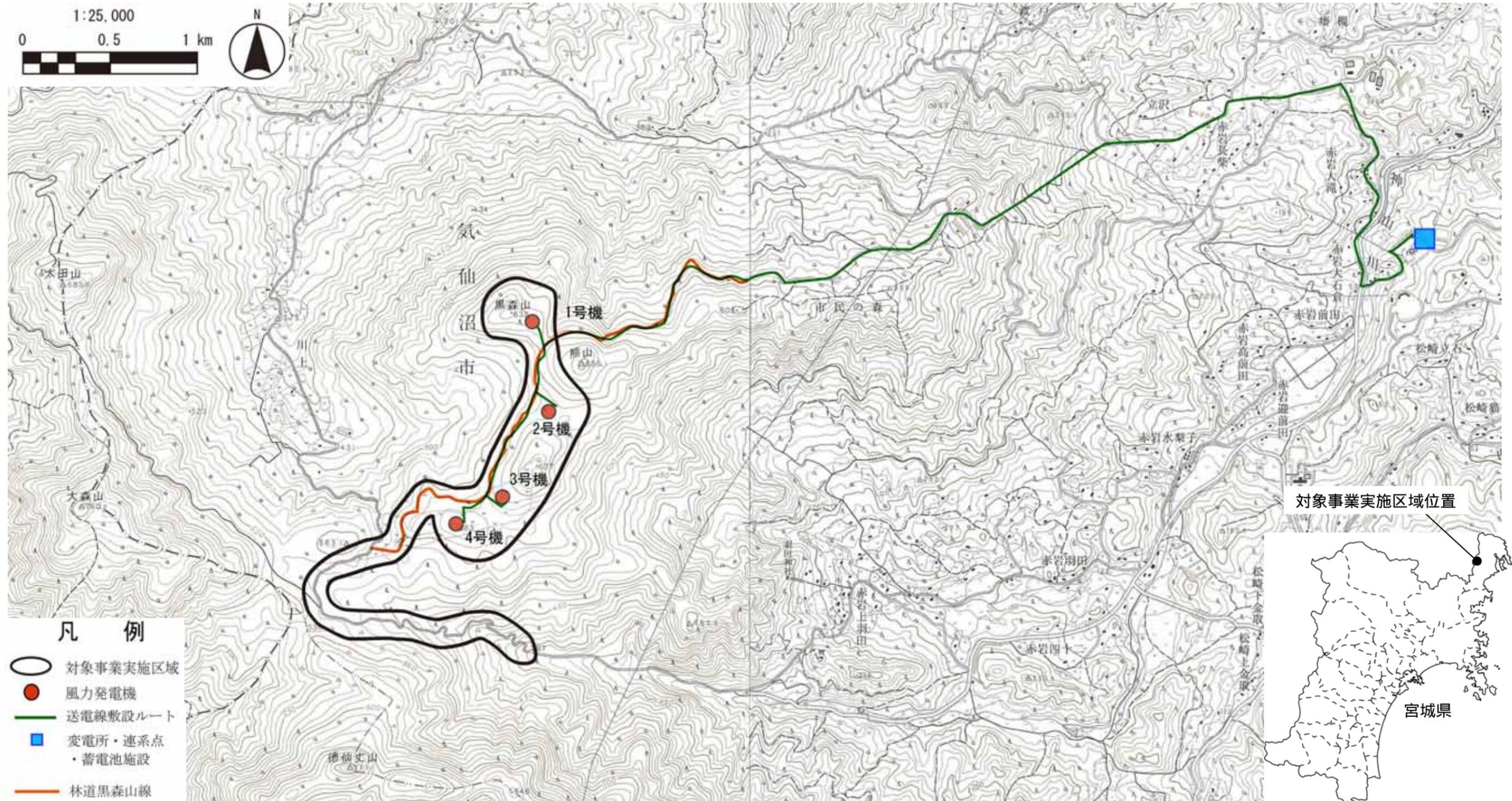
【開発の諸元】

- (1)土地改良面積 約 2.00ha
 (内 訳)・風力発電機(4基):約 1.05ha(1基あたり 0.15～0.3ha)
 ・変電所、蓄電池設備:約 0.15ha
 ・管理用道路、既設道路拡幅:約 0.80ha
- (2)送電線ルート 約 10km(コンクリート柱による架空方式及び地下埋設方式)
- (3)土工量 切土(7,000 m³)盛土(7,000 m³)場外搬出なし
- (4)産業廃棄物 木屑(100トン)、廃プラスチック類(2トン)、紙くず(1トン)



【風力発電機の概要】

- 機種 ENERCON E82E2(ドイツ製)
- 定格出力 1,870kW
- ハブ高さ 78m
- ローター直径 82m
- 最高高さ 119m
- 設置基数 4基
- 耐用年数 設計規格 20年



2. 環境影響評価の項目

【項目選考の基本的な考え方】 「宮城県環境影響評価技術指針」(平成11年2月4日宮城県告示第119号)と条例及び事業特性を踏まえて選定した			影響要因の区分	工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用		予測地点等
環境要因の区分				建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	造成等の施工による一時的な影響	風力発電所の存在	施設の稼働	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	窒素酸化物		x				騒音及び低周波音の現況測定を行い、風力発電機からの寄与分を合成した上で基準等と整合性を評価する ● 施設の稼働時(2地点)
			浮遊粒子状物質		x				
			粉じん等		x				
		騒音・低周波音		x					
			振動	x	x				
	水環境	水質	土砂等による水の濁り				x		
			有害物質				x		
		地下水の水質及び水位	地下水の水位				x		
			有害物質				x		
	土壌に係る環境 その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質				x	x	
地盤の安定性						x	x		
地盤		有害物質				x			
		日照障害				x			
その他の環境要素		風車の影				x			
		電波障害					x		
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地	海域以外			x	x	● 対象事業実施区域から300mの範囲 ● 対象事業実施区域から1.5kmの範囲 ■ 猛禽類の調査地点(7地点) ● 対象事業実施区域から7kmの範囲 ● 眺望景観調査地点(6地点) ● 困窮景観調査地点(2地点) ● 人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点(1地点)	
	植物	重要な種及び群落	海域以外			x	x		
	生態系	地域を特徴づける生態系	海域						
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源、主要な眺望景観並びに主要な困窮景観							
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場							
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物							

3. 対象事業実施区域及び予測地点位置図

